

# 検査説明書



# 消化管検査を受けられる方へ

画像診断・エックス線診断/写真診断および撮影、造影剤注入手技

## 消化管検査とは

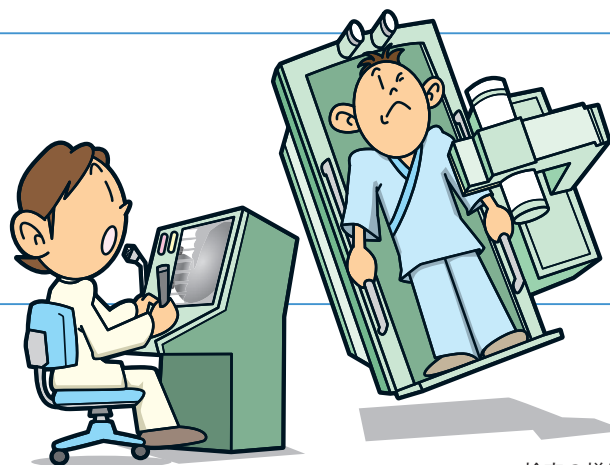
・消化管検査は食道と胃、十二指腸を検査する上部消化管検査（胃透視）と大腸の入り口から肛門近くの直腸までを検査する下部消化管検査（注腸）に分けられます。どちらの検査でも造影剤（バリウム）を胃や腸の壁に付着させ、空気を入れることで風船のようにふくらませた腸の内側の壁のこまかい状態を観察し撮影します。

## 消化管検査にかかる時間

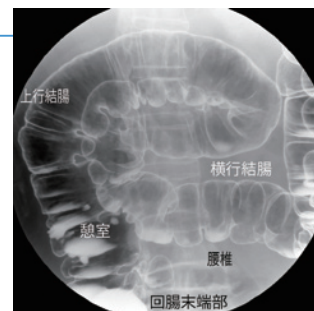
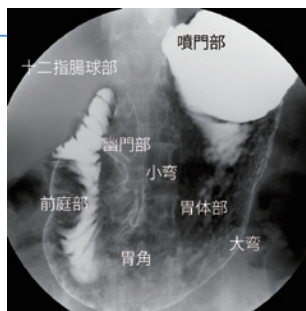
・胃や腸の形や位置は人によって大きく異なりますので検査時間も個人差があります。上部消化管検査（胃透視）では通常検査が始まると10～15分程度で終了します。また、下部消化管検査（注腸）は15～20分程度で終了する場合がありますが、場合によっては長い時間かかる場合もあります。

## 消化管検査の注意点

- ・上部消化管検査（胃透視）では炭酸ガスを大量に発生させる粒を飲んでいただきますので、ゲップ、咳等がしますが良い検査のために我慢してください。下部消化管検査（注腸）ではカテーテルと呼ばれる管を肛門より数センチ挿入します。カテーテルから空気を入れるので「オナラ（ガス）」がしますが、我慢していただきますようお願いいたします。
- ・上部消化管検査（胃透視）、下部消化管検査（注腸）ともに専用の服に着替えていただきますので、当日は着替えやすい服装でお越しください。



検査の様子



### 禁忌事項:

✓ 消化管穿孔があるといわれている方は禁忌です。また、禁忌ではありませんが、検査台の上でカラダの向きを換えていただきますので極端に体調の悪い方や意思疎通のむずかしい方はこの検査は不向きです。心臓病・腎臓病・妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず事前にお知らせ下さい。服用中のお薬がある場合は必ず医師にご相談ください。検査中、万が一気分が悪くなった場合はすぐにお知らせ下さい。

### 胃透視

上部消化管検査（胃透視）では検査前日の夕食以降絶食にてお願いいたします。当日は検査終了まで絶対絶食でお願いいたします。

胃の検査では「ゲップ、せき、くしゃみ」を我慢してください。

検査後はどんどん「ゲップ」を出して下さい。

### 検査前

トイレを済ませてください

### 検査中

必要に応じて呼吸を止めていただきます

### 検査後

### 注腸

下部消化管検査（注腸）は検査のための食事をお出しします。この食事以外は食べないでください。水分は十分に取ってください。

大腸検査中は「オナラ」を我慢してください。

検査後はどんどん「オナラ」を出して下さい。

- ・検査前に胃腸の動きをおさえるために筋肉注射をする場合があります。この場合はのどが渇いたり、物が見えにくくなったりする場合があります。ほとんどの方は1時間以内に回復しますが、しばらくお休みいただき、車の運転をなさる場合には十分ご注意ください。
- ・検査終了後は造影剤（バリウム）を排泄させるため、水分（お茶、ジュース、水等）をいつもより多く飲んで下さい。水分摂取が少なかつた場合、バリウムが体内に残って腸が詰まる原因になります。お茶などを持参いただいても結構です。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

# 一般撮影検査を受けられる方へ

## 一般撮影検査とは

- ・エックス線を診たい部位にあてて、身体を通過した情報から疾患や骨折の有無を調べる検査です。検査部位によって姿勢（立位・臥位）や体の向きが異なります。また、より良い画像を撮影するために息止めの合図をすることがありますので診療放射線技師の指示に従ってください。

## 検査にかかる時間

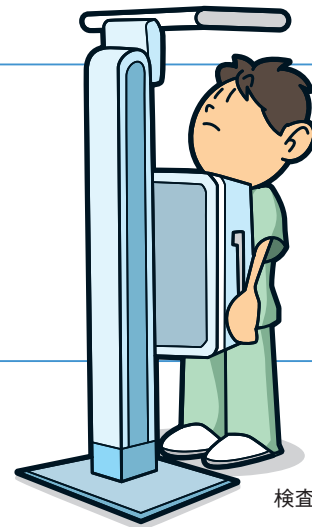
- ・部位によって異なりますが、ひとつの部位の撮影に要する時間は数分です。診たい部位が多くなるほど、検査時間も増えます。

カラダの静止と呼吸を止めていただく時間は数秒です。詳しく診たい場合の撮影は、いろいろな角度で撮影するため、検査時間が10～20分程度かかる場合があります。

## 検査の注意点

### 禁忌事項:

- ✓妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず事前にお知らせください。



検査の様子



### 検査前

- ・部位によって脱衣または更衣をお願いする場合があります。着替えやすい服装でお越し下さい。
- ・診断の障害となる固いもの（湿布、ネックレス、ボタン、入歯等）を外していただくことがあります。

### 検査中

- ・呼吸とカラダの静止の指示（合図）に従ってください。
- ・撮影方法により体位（姿勢、体の向き）をとるためカラダに触れる場合があります。また、疼痛のある場合は事前にお知らせください。

### 検査後

- ・検査終了後、特に注意していただくことはありませんが、他の検査がある場合の注意点を（飲食、排尿等）ご確認ください。
- ・検査前に外した所持品や診察券などを忘れないようご注意ください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

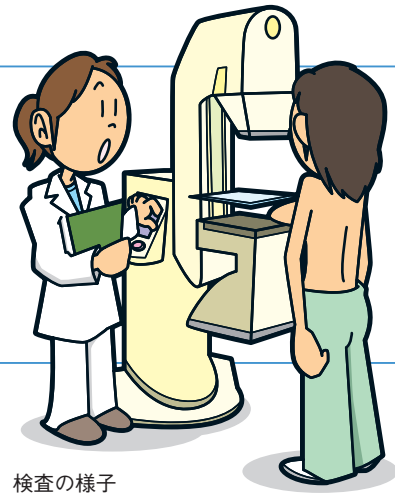
# 乳房撮影検査(マンモグラフィ)を受けられる方へ

## 乳房撮影検査(マンモグラフィ)とは

- ・乳房のエックス線撮影のことです。乳房の特徴を考慮した専用の装置を使用します。通常、乳房全体が撮影フィルムの中に全て写し出されるように、複数の方向から撮影を行います。触っても判らないような小さな乳がんはもちろん、しこりをつくらぬ乳がんを白い影や非常に細かい石灰化の影として写すことができます。

## 検査にかかる時間

- ・一般的に両乳房の2方向撮影の場合、10～15分程度です。カラダを静止いただく時間は数秒です。詳しく診たい場合、拡大撮影するため検査時間が20～30分程度かかる場合があります。



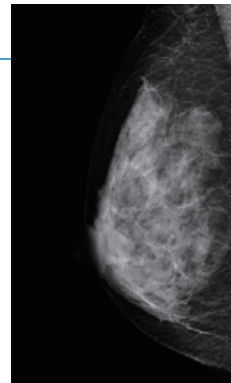
検査の様子

## 検査の注意点

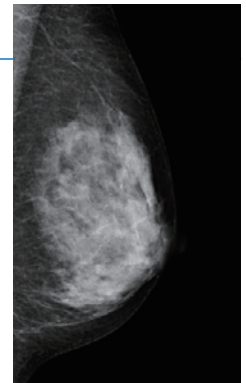
- ・より良い乳房撮影のために上半身の脱衣をお願いする場合があります。また、メガネやネックレスを身体から外して頂く場合や制汗剤やパウダー、汗などをよくふき取っていただく場合があります。

### 禁忌事項:

- ✓ 基本的に禁忌となる方はおりません。
- ✓ 妊娠中または妊娠の可能性がある場合は必ず事前にお知らせください。



右乳房



左乳房

### 検査前

ご自身で気が付かれたしこりや検診等で指摘された部分を診療放射線技師にお伝えください。手術の傷跡、いぼ、ほくろ等についても事前にお知らせください。

### 検査中

- ・診たい部分を撮影するために、触診（位置確認）をする場合がありますのでご協力ください。
- ・診断に必要な写真を撮るため乳房を圧迫して撮影します。その際に痛みを伴うことがあります。
- ・正確な位置で撮影を行うため姿勢の指示やカラダに触れることがありますのでご理解とご協力をお願いします。

### 検査後

検査終了後は飲食等、特に注意していただくことはありません。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食や排尿に関してはご確認ください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# 超音波(エコー・US)検査を受けられる方へ

検査・生体検査/超音波検査・断層撮影法および心臓超音波検査

## 超音波検査とは

- ・ヒトの耳には聞こえない領域(おおよそ2.5~12メガヘルツ)の音波をカラダに当てて戻ってくる反射波によって体内の状態を見る検査です。通常は臥位(寝た姿勢)で検査します。必要に応じて座位(座った姿勢)をとる場合もあります。おなか全体、心臓、乳房、甲状腺、首や足(下肢)の血管、あらゆる軟部組織と多くの部位が検査の対象になり、血液の流れる速さや方向を見ることも可能です。超音波自体はカラダにあたっては痛くありませんがプローブと呼ばれる装置を皮膚にあてて検査するために軽い圧迫を感じます。

## 超音波検査にかかる時間

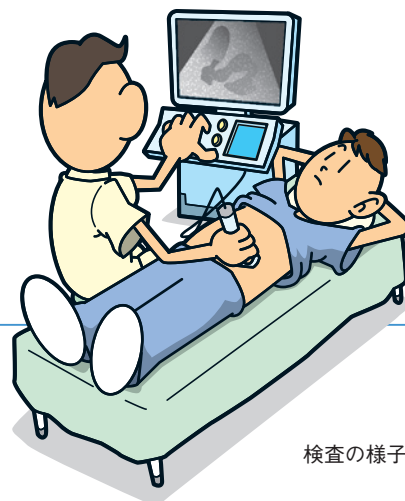
- ・検査の目的部位によって大きく異なります。また、患者さま個人の状態や検査の目的によって検査にかかる時間は異なります。着替えや横になっていただく時間は別に、一般的におなかの検査で10~15分、心臓の検査で30分程度はかかります。

## 超音波検査の注意点

- ・検査する部位によって脱衣をお願いする場合があります。検査の必要上、目的の部位より広い範囲に専用のゼリーを塗ります。なるべく最小の脱衣で検査できるようにしておりますが服の種類によってはカラダから外していただくなければ検査・診断の障害となってしまうことがあります。当日は更衣(脱衣)しやすい服装にてお越しください。

### 禁忌事項:

- ✓基本的に禁忌となる方はおりません。乳幼児・小児・妊娠中の方でも検査可能です。ただし、検査の必要上専用ゼリーを塗ります。皮膚疾患のある方は必ず事前に医師にご相談ください。



検査の様子



### 検査前

- ・検査対象が腹部(おなか)であった場合、検査前日の夕食以降は食べないでください。コーヒー、紅茶、ジュース、牛乳(乳製品)では検査に支障をきたす場合がありますのでのまないでください。水やお茶はおなかの検査であっても飲んでいただいて結構ですので、服用中のお薬がある場合は医師から特別な指示がない限り、いつもどおり服用してください。
- ・腹部以外の検査の場合、食事は関係ありません。いつもどおりで結構です。
- ・目的臓器によっては尿をためた状態で検査する場合があります。検査前の排尿は必ず職員にご確認ください。

### 検査中

- ・呼吸に関する合図があった場合はその指示に従ってください。検査ベッドは幅が狭いので落下にご注意ください。

### 検査後

- ・特にありません。取り外したものを忘れずにしてください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# CT検査を受けられる方へ

## CT検査とは

CTとはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略です。身体の周りからエックス線をあて、体を通過したエックス線情報をコンピュータで解析し、連続した断層写真（輪切りの画像）を得る検査です。最近では、らせん状に連続撮影すること（ヘリカルスキャン）で、全身を一度に検査することも可能です。病変を詳しく診るために腕の静脈からヨード性造影剤という薬を注射しながら撮影することがあります。また、たくさんの薄い断層写真を得ることで、3D画像（立体的な写真）をつくる事も可能です。



検査の様子

## 検査にかかる時間

通常検査の時間は10分～20分程度です。また、カラダの静止と呼吸を止めていただく時間は、20秒前後です。詳しく診たい場合には、撮影回数を増やしヨード性造影剤を注射する場合がありますので、検査時間が延びることがあります。担当の診療放射線技師にお尋ねください。検査の目的と内容にもよりますが、30分～1時間程度です。身体の静止と呼吸については、適宜に数回指示をします。

**禁忌事項:** 次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に診療放射線技師にご確認ください。

- ✓ペースメーカーや除細動器を装着している（手帳をお持ちください）
- ✓妊娠、または妊娠している可能性がある
- ✓過去にヨード性造影剤に対する過敏症（吐き気、かゆみ）があった

### 来院前

- 金属類所持(衣類)
- 食事制限
- 妊娠・妊娠の可能性

造影検査の場合、午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食を食べないでください。常用薬をご使用の方は、通常通り飲んでください。

### 検査前

- 予約時間15分前着
- 体外の金属類を外す
- 検査説明

検査部位にあるアクセサリーなどの金属類、エレキバン、使い捨てカイロなどは外していただきます。検査着に更衣することが必要な場合もあります。スタッフの指示に従ってください。造影検査の場合、喘息、アレルギー（食物、薬など）がある方は申し出てください。

### 検査中

- 静かにしか動かない
- 検査時間10分～20分
- マイクで話ができる
- 造影剤は熱く感じる

検査用ベッドに横になり、しばらくすると撮影の合図とともにベッドが移動します。動かないで静かにしててください。息止めが必要な場合は合図をいたしますのでそれに合わせてください。検査中は担当する診療放射線技師とマイクを通して話ができます。何かあれば声をかけてください。造影剤を使う検査では、お薬の影響で身体が熱く感じますがしばらくすると戻りますので心配しないでください。

### 検査後

- 生活に制限なし
- 造影検査:水分をとる
- 結果:主治医より

食事等、特に注意していただくことはありません。造影剤を使用した場合は、水分（お茶、ジュース、水等）をいつもより多くとるようにしてください。お薬は尿になって出ます。検査結果は担当医師から報告します。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

# MRI検査を受けられる方へ

## MRI画像診断および撮影

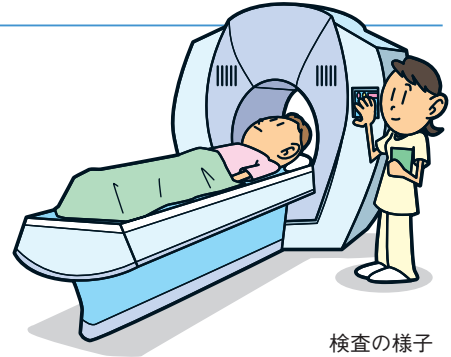
### MRI検査とは

MRIはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)の略です。強力な磁石と電波を使って身体の内部の状態を診る検査です。狭いトンネルの中で検査をします。電波をあてて、出てくる信号を読み取り、いろんな方向の断面画像を作ることが出来ます。

検査中、「ドンドン」「コンコン」という大きな音がしますが、磁場の高速切替えのために振動している音です。心配いりませんので、動かないで静かに横になってください。

身体を詳しく診るために腕の静脈から、造影剤(ガドリニウム・鉄 製剤)を注射したり内服薬を使用することもあります。

検査室は強い磁力が発生している管理区域です。診療放射線技師の指示に従ってください。



検査の様子

### 検査にかかる時間

通常の検査時間は20分～30分程度です。また、身体を動かさない時間は、20分前後です。

詳しく診る必要がある場合には、撮影回数を増やし造影剤を注射する場合がありますので、検査時間が延びることがあります。担当の診療放射線技師にお尋ねください。

#### 禁忌事項:

次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に主治医もしくは診療放射線技師にご確認ください。

- ✓手術により金属等が体内にある(ペースメーカー\*・人工内耳・血管ステント・動脈クリップ・人工関節・歯科インプラント等) ※一部対応可能な物もあります。
- ✓高度の閉所恐怖症
- ✓刺青、マグネット付き義歯をしている
- ✓妊娠または妊娠の可能性がある(妊娠3ヶ月以内)

以下のものは、取り外しいたください

- ✓ヘアピン、ネックレス、イヤリング、エレキバン、カイロ、入れ歯、指輪、財布等の金属類時計、眼鏡、補聴器、磁気カード類、携帯電話
- ✓マスカラ、アイシャドウ、アイライン、ネイルアート、コンタクトレンズ、湿布、ニトログラム、ニコチネル など



#### 来院前

- 体外金属類の所持
- 食事制限

体内および衣類の金属類などは検査の障害となります。禁忌事項を参照いただき、着替えやすい服装でご来院ください。造影検査の場合、午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食を食べないでください。常用薬をご使用の方は、通常通り飲んでください。

#### 検査前

- 予約時間15分前着
- 体外の金属類を外す
- 検査説明

カラダにあるアクセサリなどの金属類、エレキバン、使い捨てカイロなどは外していただきます。検査中に更衣が必要な場合もあります。診療放射線技師の指示に従ってください。造影検査の場合、喘息、アレルギー(食物、薬など)がある方は申し出てください。

#### 検査中

- 静かにし動かない
- 検査時間20分～50分
- ナースコールで連絡

撮影中は装置の中ですが、常に診療放射線技師が安全を確認しながら検査を進めます。大きな音とベッドの振動がありますが心配いりません。カラダを動かさないでください。息止めが必要な場合は、合図をしますので診療放射線技師の指示に従ってください。また、マイクを通して会話が可能です。気分がすぐれない場合は、手にお渡しする緊急ボタンでお知らせください。

#### 検査後

- 生活に制限なし
- 造影検査:水分をとる
- 結果:主治医より

食事等、特に注意していただくことはありません。造影剤を使用した場合は、水分(お茶、ジュース、水等)をいつもより多くとるようにしてください。お薬は尿になって出ます。検査結果は担当医師から報告します。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )



# 脳血管造影検査を受けられる方へ

選択的脳血管造影、総頸動脈造影 (CAG)、椎骨動脈造影 (VAG)

## 脳血管造影検査とは

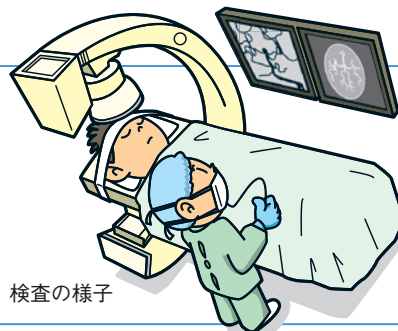
専用の細い管（カテーテル）を動脈に挿入し、その先端を脳の近くへ選択的に進めて造影剤を注入することにより、診たい脳の血管を写し出す検査です。

動脈にこぶができている動脈瘤や、先天的に動・静脈間が直接繋がっている脳動静脈奇形は、くも膜下出血の原因になりますが、この診断や治療に役立ちます。また、脳腫瘍の診断や治療を行う場合もあります。

## 脳血管造影検査の方法

カテーテルを挿入する場所は、主に足の付け根の大腿動脈です。首筋の頸動脈や腕の上腕動脈に直接針を刺す方法もあります。

撮影は、カテーテルに造影剤を注入し連続した画像を十数秒間撮影します。診断に必要な様々な方向からの撮影を数回繰り返します。



検査の様子



左総頸動脈(側面像)

## 検査にかかる時間

検査の目的や内容にもよりますが、1～2時間程度です。一回の撮影は10数秒前後です。撮影時は、造影剤によって頭が熱く感じます。

検査中はカラダを動かさないようにしてください。また撮影時は頭が動かないようにベルトで固定します。撮影中に頭が動いてしまうと画像がぶれてしまいます。

**禁忌事項：**次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に担当医師にご確認ください。

✓発熱、出血傾向、凝固異常、重篤な造影剤過敏症、腎不全

### 検査前

カテーテルを挿入する部分の体毛を剃ります。検査着を着て、陰部に布を当ててカテーテル挿入部分が不潔にならないようにします。

### 検査中

カテーテルを挿入する場所を消毒し、カラダ全体に滅菌した大きな布をかぶせます。この上は清潔を保っているため、手などを出すことが出来ません。

局所麻酔の注射をする時に、チクリとした軽い痛みがあります。

撮影の時は、造影剤を数ミリリットル急速に注入します。そのときに頭の中が熱く感じますが、一時的なものなので心配しないで下さい。また、なにか不具合なことがございましたら、そばにいる看護師や医師に話をするようにしてください。

### 検査終了後

検査が終了しカテーテルを抜いたあとは、止血のために十数分圧迫をします。病室に戻った後も、ベルトで圧迫したまま数時間ベッド上で安静にさせていただきます。

まれにカテーテル挿入部位から出血する場合があります。カテーテル挿入部に急な痛みや腫れを感じたときには病棟スタッフにご連絡ください。

完全に止血されたことが確認されたら歩行が可能になります。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# 心臓カテーテル検査を受けられる方へ

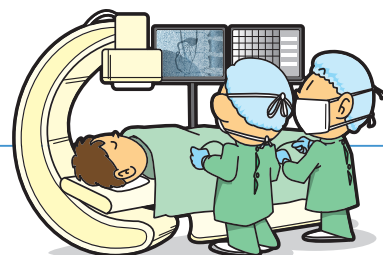
## 心臓カテーテル検査(心カテ)、選択的冠動脈造影(CAG)

### 心臓カテーテル検査(心カテ)とは

約1～3mmの太さの専用の細い管(カテーテル)を動脈や静脈を通して心臓の各部屋(心房や心室)に挿入し、その中の圧力や送り出す血液量を測定する検査です。また、この管から造影剤を注入して各部屋の働きや弁の状態を観察する検査も行われます。

心臓カテーテル検査では選択的冠動脈造影(CAG)が多く行われます。これは、カテーテルを直接冠動脈に挿入して造影剤を注入することによって冠動脈の画像を撮り、動脈硬化などの異常を診断する検査です。

心臓は常に動いているため他の部位の血管のエックス線撮影と異なり、一枚の画像では異常を見つけることができないため、連続した動画像として撮影します。



検査の様子

### 心臓カテーテル検査の方法

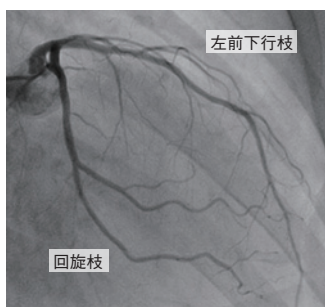
心臓にカテーテルを進めるために手首や足の付け根などの動脈や静脈にカテーテルを挿入します。

カテーテルは心房・心室の検査、左右の冠動脈検査によって異なり適宜選択し検査を進めます。

診たい部分にエックス線透視を用いながら安全にカテーテルを誘導します。

撮影は、機械を操作し造影剤を注入しながら、いろいろな角度の動画像を撮影します。

医師、看護師が傍に付き添っていますので、不自由なことや体に異常を感じたら申し出てください。



左冠動脈

### 検査にかかる時間

検査時間は、CAGのみで局所麻酔から造影の終了まで30～60分程度、心臓カテーテル検査の場合は、圧力や血液量の測定も行うため60分程度かかります。医師、診療放射線技師が呼吸を止める指示をしますので従ってください。

続けて冠動脈拡張術などの治療を行う場合は、更に長い時間がかかります。スタッフからの説明を参考にしてください。

**禁忌事項:** 次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に担当医師にご確認ください。

- ✓重症心不全、全身性感染、発熱、出血傾向、凝固異常、重篤な疾患をお持ちの方
- ✓造影を行う場合、重篤な造影剤過敏症、腎不全、薬剤でうまく抑えられない不整脈

#### 検査前

カテーテルを挿入する部分の毛を剃ります。また、陰部に布を当ててカテーテル挿入部分が不潔にならないように処理をする場合があります。担当看護師等スタッフが行いますので、指示に従ってください。

薬剤を注射したり造影剤による腎臓への負担を減らすために点滴の注射をします。

#### 検査中

カテーテルを挿入する場所を消毒します。その後体全体に滅菌した大きな布をかぶせます。この上は清潔を保っているため、手などを出すことが出来ません。カテーテル検査はカテーテルを挿入する部位の局所麻酔のみで行われます。全身麻酔はしませんので検査の一部始終がわかります。

局所麻酔の注射をする時に、チクリとした軽い痛みを感じるのみです。

撮影のために寝台を動かしたり、撮影装置が体や顔に近づいたりします。

また、緊張のために息苦しさ、動悸、胸の圧迫感などを感じる方がいらっしゃいます。必要に応じて精神安定剤を使用する場合があります。なにか不具合なことがございましたら、そばにいる看護師や医師に話をするようにしてください。

#### 検査終了後

動脈にカテーテルを入れた場合には一定の時間刺入部位を圧迫し出血を予防しなければなりません。足の付け根から挿入した場合には、数時間ベッド上で安静にいただくことになります。

造影剤を腎臓から速く排泄させるための点滴を行い、感染予防のために抗生物質を使用します。

まれにカテーテル挿入部位から出血する場合があります。カテーテル挿入部に急な痛みや腫れを感じたときには病棟スタッフにご連絡ください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# 腹部血管造影検査を受けられる方へ

腹腔動脈造影 (CELIAC)、上腸間膜動脈造影 (SMA)、腎動脈造影

## 腹部血管造影検査とは

専用の細い管（カテーテル）を動脈に挿入し、その先端を腹部の各臓器の分枝血管に進めて造影剤を注入することにより、診たい臓器の血管を写し出す検査です。

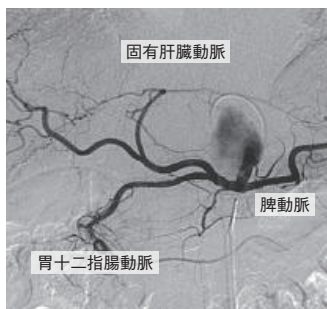
肝臓を栄養している動脈や、腸から肝臓に流れる門脈の流れを連続撮影します。

## 腹部血管造影検査の方法

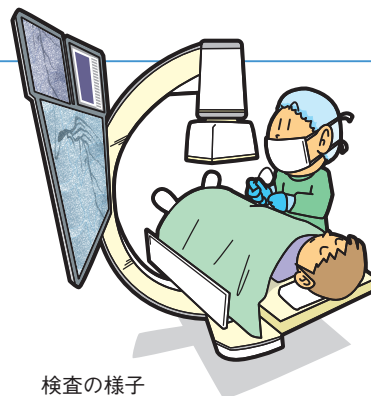
カテーテルを挿入する場所は、主に足の付け根の動脈です。

撮影は、カテーテルに造影剤を注入して、一秒間に数枚の連続した画像を十数秒～二十数秒間撮影します。撮影中は呼吸を止める必要があります。合図にあわせて息を止めてください。

できるだけおなかを動かさないようにしていただくと、より鮮明な画像を撮ることが出来ます。撮影時は、急速に暖かい造影剤を注入するためにおなか熱くなります。



腹腔動脈



検査の様子

## 検査にかかる時間

検査の目的と内容にもよりますが、30分～1時間程度です。カラダの静止と呼吸については、適宜に数回指示をします。一回の撮影で息を止める時間は20秒位です。

**禁忌事項:** 次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に担当医師にご確認ください。

✓ 発熱、出血傾向、凝固異常、重篤な造影剤過敏症、腎不全

### 検査前

カテーテルを挿入する部分の体毛を剃ります。検査着を着て、陰部に布を当ててカテーテル挿入部分が不潔にならないようにします。

### 検査中

カテーテルを挿入する場所を消毒し、カラダ全体に滅菌した大きな布をかぶせます。この上は清潔を保っているため、手などを出すことが出来ません。またカラダを動かさないようにしてください。局所麻酔の注射をする時に、チクリとした軽い痛みがあります。撮影の時は、造影剤を数ミリリットル急速に注入します。そのときにおなか熱く感じますが、一時的なものなので心配しないで下さい。また、なにか不具合なことがございましたら、そばにいる看護師や医師に話をするようにしてください。

### 検査終了後

検査が終了しカテーテルを抜いたあとは、止血のために十数分圧迫をします。お部屋に戻った後も、ベルトで圧迫したまま数時間ベッド上で安静にさせていただきます。

まれにカテーテル挿入部位から出血する場合があります。カテーテル挿入部に急な痛みや腫れを感じたときには病棟スタッフにご連絡ください。

完全に止血されたことが確認されたら歩行が可能になります。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# 口内法エックス線撮影(デンタル撮影)を受けられる方へ

画像診断・エックス線診断／写真診断および撮影

## 口内法エックス線撮影(デンタル撮影)とは

口の中に小さなフィルムなどを入れて主に歯の撮影をします。

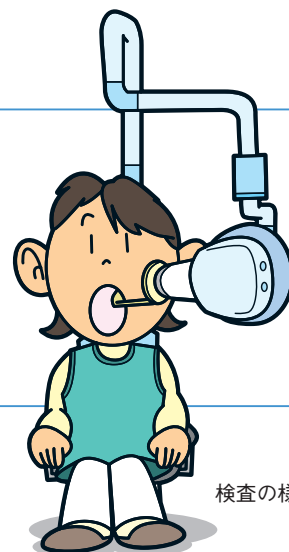
この撮影の主な目的はむし歯や歯周病(歯槽膿漏)などの診断ですが、のう胞、炎症、腫瘍、唾石、骨折などの診断をする場合にも用いられます。一般的に座って行い、フィルムや検出器をご自身の指で支えていただく場合があります。呼吸を止めていただく必要はありませんが、じっとしていただく必要があります。

## 撮影にかかる時間

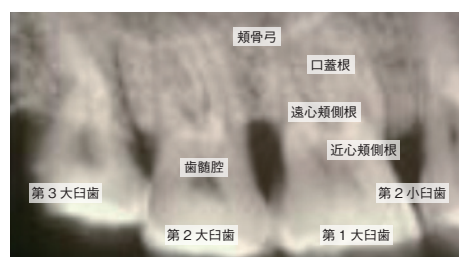
1枚の撮影には、2～3分で終了いたします。歯周病などの目的で全部の歯の撮影をする場合には10枚～14枚の撮影を必要とし20分～30分かかります。身体を静止していただく時間は一回の撮影につき、数秒程度です。

## 撮影の注意点

診断の障害になってしまうことから、取り外しのできる入れ歯は外していただきます。また、上の歯の撮影の場合はメガネを、奥歯の撮影の場合は大きなイヤリングやピアスなどもお外していただきます。担当の診療放射線技師の指示に従ってください。



検査の様子



### 禁忌事項:

- ✓基本的に禁忌となる方はいませんが、例えば歯ブラシなどを口に入れた時に吐き気が起こりやすい(嘔吐反射といいます)方は、撮影が難しい場合があります。このような経験のある方は、他の撮影方法に変更する場合がありますので、担当の医師または、診療放射線技師にご相談ください。

### 検査前

特に注意していただくことはありませんが、嘔吐反射の強い方は、検査直前の飲食は控えたほうが良いかもしれません。

### 検査中

フィルムなどの保持についての指示がございますので、動かさないように保持をお願いさせていただきます。フィルムだけでなく、ご自身も動かないようにお願いさせていただきます。

### 撮影後

特にありません。取り外したものをお忘れないようにしてください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

# パノラマエックス線撮影を受けられる方へ

画像診断・エックス線診断／写真診断および撮影

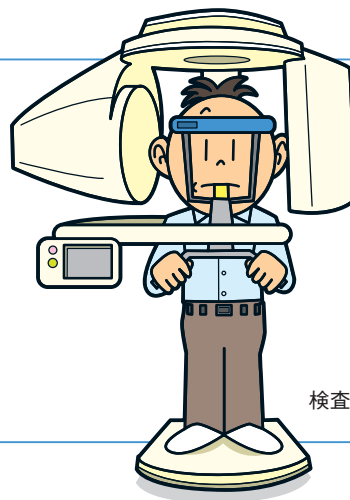
## パノラマエックス線撮影とは

歯を含んだあごの骨全体を映します。

この撮影の主な目的は歯周病（歯槽膿漏）、のう胞、炎症、腫瘍、唾石、骨折などの診断をする場合に用いられます。

撮影は立位または座位で行い、撮影中は顔の周りを装置が回転します。

呼吸を止めていただく必要はありませんが、じっとしていただく必要があります。



検査の様子

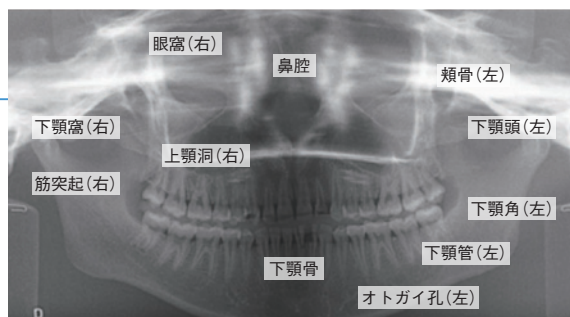
## 撮影にかかる時間

撮影は、2～3分で終了いたします。

この内、動かないでいただく時間は10秒程度です。

## 撮影の注意点

診断の障害になってしまうことから、取り外しのできる入れ歯は外していただきます。また、ネックレス、イヤリング、ピアス、ヘアピン、ヘアゴム（金属のついているもの）などもお外していただきます。担当の診療放射線技師の指示に従ってください。



### 禁忌事項:

- ✓ じっとしていただけない方（特に口の静止が難しい方）は、撮影が難しい場合があります。他の撮影方法に変更する場合がありますので、担当の医師または、診療放射線技師にご相談ください。

### 検査前

特に注意していただくことはありません。首から上の部分で外せる金属は、すべて外していただきます。

### 検査中

顔の周りを装置が回りますが、ご自身は動かないようにお願いします。特に口は動かさないようにお願いいたします。

### 撮影後

特にありません。取り外したものを忘れないようにしてください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

# 歯科用CTを受けられる方へ

画像診断・エックス線診断／写真診断および撮影

## 歯科用CTとは

あごの骨の中に埋まった歯、歯の破折、歯周病（歯槽膿漏<sup>のうろう</sup>）、あごの骨の中の病気などを任意の角度から3Dで把握することができます。通常のCTと比較して、解像度が高く、被ばく線量が少ないですが、撮影範囲が狭いため、装置によっては1回の撮影で観察できる範囲が2～4本分程度しかないものもあります。

検査中は、装置が顔の周りを何回か回転します、その間じっとしていただく必要があります。検査終了後に再構築画像を作成します。



検査の様子

## 検査にかかる時間

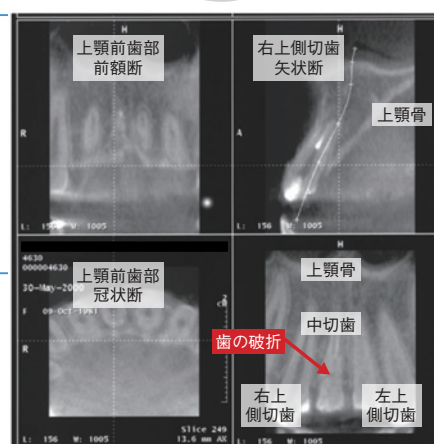
撮影する範囲にもよりますが、10分～30分かかります。

このうち、動いてはいけない時間は2分ほどです。

検査後、画像確認のために、検査室でしばらくお待ちいただくことがあります。

## 検査の注意点

診断の障害になってしまうことから、取り外しのできる入れ歯は外していただきます。また、ネックレス、イヤリング、ピアス、ヘアピン、ヘアゴム（金属のついているもの）などもお外していただきます。担当の診療放射線技師の指示に従っていただきますようお願い致します。



### 禁忌事項:

- ✓じっとしてられない方（特に口を動かさないでいることが難しい方）は、撮影が難しい場合があります。このような方は、担当の診療放射線技師にご相談ください。他の撮影方法に変更する場合があります。

### 検査前

特に注意していただくことはありませんが、首から上の部分で外せる金属は、すべて外していただきます。

### 検査中

顔の周りを装置が回りますが、ご自身は動かないようにお願いします。特に口は動かさないようにお願いいたします。

### 検査後

特にありません。取り外したものをお忘れないようにしてください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

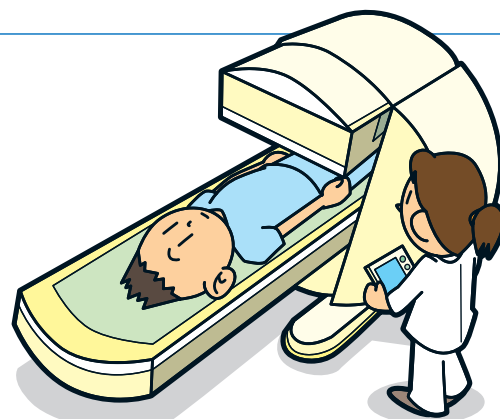
# ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィ検査を受けられる方へ

## ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィとは

ガリウム(腫瘍・炎症)シンチグラフィは、悪性腫瘍や炎症性病変の診断、原因不明の熱源検索などを目的として行われます。放射性物質を含んだ薬(放射性医薬品)を注射します。薬が腫瘍や炎症に多く集まる性質を利用し、薬から出てくる放射線を画像化して、腫瘍や炎症の位置や活動性の診断を行っています。

## ガリウムシンチグラフィの方法

- ・指定された日時(注射日時)に核医学検査室までお越しいただき放射性医薬品を静脈から注射します。  
(採血と同様な方法で、血管に針を刺し、薬を注入します。針を刺す痛み以外に痛みはありません。)
- ・再度指定された日時(検査日時)に核医学検査室までお越しいただきます。
- ・検査目的・部位によって、検査前日に食事制限や排便促進剤の投与を行うことがあります。
- ・検査直前に、正確な検査を行うために排便をしていただきます。
- ・検査は、検査台に仰向けに寝ていただき撮影を行います。



検査の様子

## ガリウムシンチグラフィ検査にかかる時間

検査の内容にもよりますが、通常検査では検査室内にいる時間が45分程度です。そのうち動いてはいけない撮影時間が40分程度になります。検査の時間は延びることもありますので担当の診療放射線技師におたずねください。

### 禁忌事項:

- ✓妊娠中または、その可能性のある方は検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出ください。
- ✓閉所恐怖症の方は、検査前にお申し出ください。対応いたします。

### 検査中注意点

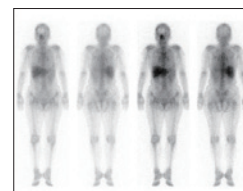
- ・注射(放射性医薬品投与)前の注意点は特にありません。
- ・検査目的・部位によって、検査前日より、食事制限(検査食の摂取)がありますので確認をしてください。
- ・検査目的・部位によって、検査前日より、排便促進剤の投与がありますので確認をしてください。
- ・オムツを使用している場合は検査直前に交換してください。

### 検査中注意点

- ・この検査は長い時間をかけて撮影しています。検査中は動かないでください。
- ・検査の種類や目的によって、手を挙げていただくことや、横向きに寝るなど体位が変わることがあります。

### 検査後注意点

- ・検査終了後は、特に注意していただくことはありません。いつもどおりの生活を送ってください。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食、排尿に関しては診療放射線技師にご確認ください。



ガリウムシンチ画像

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先 ( )

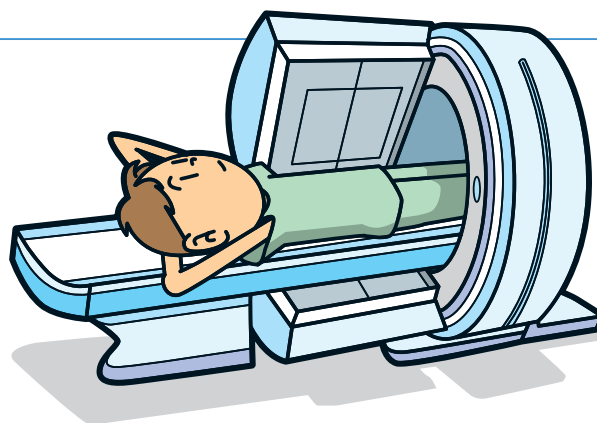
# 骨シンチグラフィ検査を受けられる方へ

## 骨シンチグラフィとは

骨シンチグラフィは、骨に関わる病気や怪我の診断や治療の効果などを目的として検査は行われます。放射性物質を含んだ薬（放射性医薬品）を注射します。その薬が骨に集まる性質を利用し、薬から出てくる放射線を、画像化して診断を行っています。この検査では、全身像を他の検査より短い時間で撮影できます。且つ、他の検査より早期な段階で診断ができることから、よく用いられる検査です。

## 検査の方法

- ・ 指定された時間（注射時間）に核医学検査室までお越しいただき放射性医薬品を静脈から注射します。（採血と同様な方法で、血管に針を刺し、薬を注入します。針を刺す痛み以外に痛みはありません。）
- ・ 再度指定された時間（検査時間）に核医学検査室までお越しいただきます。
- ・ 検査直前に、正確な検査を行うために排尿をしていただきます。
- ・ 検査は、検査台に仰向けに寝ていただき撮影を行います。



検査の様子

## 検査にかかる時間

検査の内容にもよりますが、通常の検査では検査室内にいる時間が30分程度です。そのうち動いてはいけない撮影時間が20分程度になります。検査の種類により時間が延びることがあります。担当の診療放射線技師におたずねください。

### 禁忌事項:

- ✓ 妊娠中または、その可能性のある方は検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓ 授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓ 閉所恐怖症の方は、検査前にお申し出ください。対応いたします。

### 検査中注意点

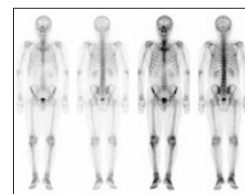
- ・ 食事・飲み物は普通にとっていただいて大丈夫です。
- ・ 検査前に大きな金属は外してください。
- ・ 注射後、衣服等を尿で汚さないよう注意してください。
- ・ オムツを使用している場合は検査直前に交換してください。

### 検査中注意点

- ・ この検査は長い時間をかけて撮影しています。検査中は動かないでください。
- ・ 検査の種類や目的によって、手を挙げていただくことや、横向きに寝るなど体位が変わることがあります。

### 検査後注意点

- ・ 特に注意していただくことはありません。いつもどおりの生活を送ってください。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食、排尿に関しては診療放射線技師、その他職員にご確認ください。



骨シンチ画像

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）



# 脳血流シンチグラフィ検査を受けられる方へ

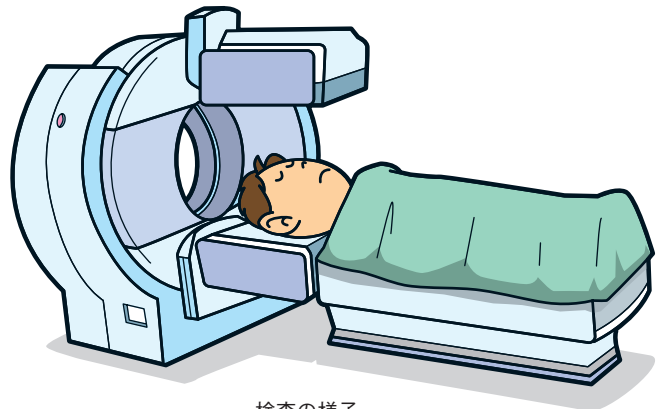
## 脳血流シンチグラフィとは

脳血流シンチグラフィとは、脳血管障害の状態、認知症や変性疾患の診断、てんかん原因の検出などを目的として検査は行われます。放射性物質を含んだ薬（放射性医薬品）を注射します。薬は肘の静脈から投与し、血流で脳に運ばれて脳内で留まります。薬から出てくる放射線を、画像化して診断を行っています。

あらかじめ、血管を広げる薬剤を使用し（負荷）検査を行うことがあります。この検査は脳血管障害の予後の評価、手術の適応決定や治療効果の評価などで行います。

## 脳血流シンチグラフィの方法

- ・指定された時間に核医学検査室までお越しいただきます。
- ・検査は、検査台に仰向けに寝ていただき撮影を行います。
- ・通常、放射性医薬品を静脈から注射します。（採血と同様な方法で、血管に針を刺し、薬を注入します。針を刺す痛み以外に痛みはありません。）
- ・撮影は、薬剤の投与と同時に始まります。
- ・頭部の周りを大きなカメラがゆっくりと回転しながら撮影を行います。
- ・通常、脳への影響を考慮し、検査時の室内は暗くなっています。



検査の様子

## 脳血流シンチグラフィ検査にかかる時間

検査の目的と内容にもよりますが、30分～1時間程度です。カラダの静止と呼吸については、適宜に数回指示をします。一回の撮影で息を止める時間は20秒位です。

### 禁忌事項：

- ✓妊娠中または、その可能性のある方は検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出てください。

### 検査中注意点

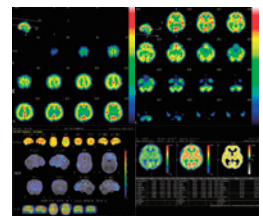
- ・検査薬の種類によっては、検査前にヨード剤を摂取していただくことがあります。
- ・負荷検査を行う場合は、利尿作用が強いため、検査直前に排尿をしていただくことがあります。

### 検査中注意点

- ・この検査は長い時間をかけて撮影しています。検査中は動かないでください。
- ・検査中は、室内が暗所になります。

### 検査後注意点

- ・検査終了後は、特に注意していただくことはありません。いつもの生活を送ってください。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食、排尿に関しては診療放射線技師、その他職員にご確認ください。



脳血流シンチ画像

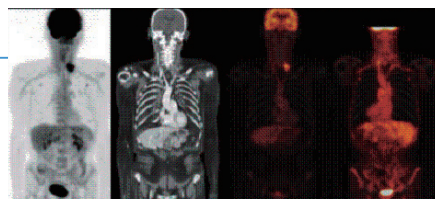
※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

# PET-CT検査を受けられる方へ

## PET-CT検査とは

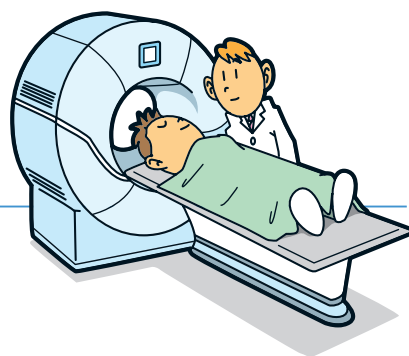
PET-CT検査とは、PETとCTの2種類の検査機器が1台になったPET-CT装置での検査のことをいいます。CTの検査では病気の形（病態）を見ているのに対し、PETの検査では、代謝などの生態機能を画像にして見えています。2種類の検査を一度で撮影しているため、PET単独の検査に比べ病変部の正確な位置や、より精密な診断が可能です。検査時間も大幅に短くなりました。現在PET-CT検査ではFDG（<sup>18</sup>F-FDG:ブドウ糖によく似た放射性医薬品）を用いた"FDG-PET検査"が大半です。FDG-PET検査は、通常がんや炎症の病巣を調べたり、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定、再発の診断などに利用されています。アルツハイマー病やてんかん、心筋梗塞、心サルコイドーシスを調べるのにも使われています。



PET-CT 画像

## PET-CT検査の方法

- ・ 指定された日時（注射日時）に核医学検査室までお越しいただき放射性医薬品を静脈から注射します。  
（採血と同様な方法で、血管に針を刺し、薬を注入します。針を刺す痛み以外に痛みはありません。）
- ・ 注射後1時間ほど待機室で水分（無糖の物）を摂取しながら安静にお待ちいただきます。
- ・ 検査直前に、正確な検査を行うために排尿をしていただきます。
- ・ 検査は、検査台に仰向けに寝ていただき撮影を行います。



検査の様子

## PET-CT検査にかかる時間

検査の内容にもよりますが、通常の検査では30～40分程度です。検査の種類により30分程度間をあけて、追加撮影を行うことがあります。

### 禁忌事項:

- ✓ 妊娠中または、その可能性のある方は検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓ 授乳中の方は、検査を行わない場合があります。お申し出てください。
- ✓ 閉所恐怖症の方は、検査前にお申し出ください。
- ✓ 尿病がある方は検査が出来ないことがあります。お申し出ください。

### 検査前注意点

- ・ 検査前日より、運動は避けてください。安静でいることが望ましいです。
- ・ 検査6時間前より食事制限がありますので確認をしてください。
- ・ オムツを使用している場合は検査直前に交換してください。
- ・ 人工肛門、人工膀胱等の方はスタッフに申し出てください。

### 検査中注意点

- ・ 通常寝ているだけの検査ですが、二種類の検査をずれなく行うため検査中は動かないでください。
- ・ 検査の種類や目的によって、手を挙げていただくことや、息を止めていただくことがあります。

### 検査後注意点

- ・ 検査終了後は、30分～1時間程度休んで頂いてから、帰宅していただきます。
- ・ 特に注意していただくことはありません。いつもどおりの生活を送ってください。ただし、引き続き他の検査がある場合がありますので、飲食、排尿に関しては診療放射線技師、その他職員にご確認ください。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。

検査に関するお問い合わせ、または予約の変更などの連絡先（ ）

# CT造影剤(注射)使用の説明書・同意書

## 1. 造影剤とは

詳しく検査をする際に用いる検査用薬剤です。CT検査ではヨード製剤を用います。

## 2. ヨード造影剤（以下「造影剤」と省略）の必要性について

CT検査で造影剤を用いることにより、検査画像に濃度差（コントラスト）がつき、より詳細な検査結果や情報を得ることができます。

通常は腕の静脈から注射をします。投与後、血管を介して診たい部分や臓器に達し、血流状態や分布状態を表します。これにより、造影剤を使用しない場合と比べて、より病気を見つけられる事から造影剤は必要となります。

## 3. 造影剤による合併症、不具合（以下、有害事象）

CT検査に伴う有害事象として、以下のことが挙げられます。このような危険を避けるよう細心の注意を払い、万一生じた場合にも最善の対処をいたしますが、事前に「絶対ない」とは言い切れないものをご理解ください。

### ① 造影剤の漏れ

急速に注入する為、血管外（皮下）に漏れる場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを感じることがありますので、直ちにお知らせください。一般的には数日以内に吸収されます。極めて稀に手のしびれや皮膚の変色を伴うことがあり、別処置が必要となります。

### ② 造影剤による副作用

#### i. 急性副作用：検査中や検査直後の早い時期におこる副作用

〔軽症〕吐き気、嘔吐、じんましん、発疹など（100人～200人に1人で1%～2%です）

副作用の多くは一時的なものでそれほど心配はいりませんが、投薬、注射で回復させる場合もあります。

〔重症〕血圧低下、呼吸困難、意識消失など（1万人～2万人に1人0.01%～0.02%です）

この場合は点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬などの治療が必要です。

極めて稀ですが、病状・体質によっては、死亡に至る場合もあります。

（10万人～20万人に1人0.0005%～0.001%）

#### ii. 遅発性副作用：検査数時間後～1週間後くらいにおこる副作用

発疹などの症状が出る場合がありますが多くの軽症の副作用です。

## 4. CT造影剤の禁忌

- ① ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴がある
- ② 重篤な甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症）

5. CT造影剤使用時のリスク要因

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| ① 一般状態が極度に悪い  | ⑦ マクログロブリン血症             |
| ② 喘息（ぜんそく）  | ⑧ 多発性骨髄腫：特に脱水のある場合       |
| ③ 重篤な心障害篤な肝障害   | ⑨ テタニー                   |
| ⑤ 腎機能低下<br>(造影できる方の目安は e-GFR 60ml /min/1.73m <sup>2</sup> 以上) | ⑩ 褐色細胞腫あるいはその疑い          |
| ⑥ 急性膀胱炎   | ⑪ 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方、授乳中の方 |

6. CT造影剤との併用注意薬剤（下記、薬剤使用の方は、担当医師までお知らせください）

- ① ビグアナイド系糖尿病薬
- ② β遮断薬
- ③ 毒性を有する薬剤（抗腫瘍薬、抗菌薬）
- ④ IL-2（インターロイキン-2）

7. 造影検査の利益と不利益

造影検査により得られる情報により、あなたにとってより適切な診療が行われる可能性があります。一方、不利益としては、この検査を受けても適切な情報が得られない、検査に伴う放射線被ばく、また前述の有害事象に遭遇する可能性が挙げられます。

8. 同意書の撤回について

患者又は代理人は、検査を受けることを同意した後、いかなる場合でも同意の撤回ができる。

---

## CT造影剤使用の同意書

私は、造影剤の必要性と副作用について説明しました。

年 月 日

説明者署名

職名

---

氏名

---

私は、造影剤に関して、その必要性と副作用の可能性について説明を受けて理解しましたので、造影剤を使用することに同意します。また、万一副作用が現れた場合には必要な処置を受けることも承諾します。

年 月 日

患者署名

氏名

---

または代理人署名

氏名

続柄（ ）

---